



# 議会だより



## 豪雨災害に備えて 水防訓練 H27.6.28

### おもな内容

6月定例会	2
一般質問(5名)	4
常任委員会報告	12
特別委員会報告	13
どっこい、この町に生きる	14

# 介護職員確保のために 奨学金制度を創設



**工事請負契約の締結**  
日南町総合文化センター  
空調・外壁等改修工事  
317,736千円



**繰越明許費および  
事故繰越計算書**  
新エネルギー推進事業  
簡易水道施設への影響の協議などにより工事が大幅に遅れ込んだことによるもの。  
(発電は9月予定)



**山村振興一般対策事務**  
にちなん邑バスエアコン修理  
ゆきんこ村かやぶきの家修繕  
など  
1,456千円



**補正予算のおもなもの  
一般会計**  
中心地域整備事業  
江府インターチェンジ出口  
「道の駅」案内看板  
843千円  
観光振興対策事業  
生山駅に停車する「トワイライトエクスプレス」号への取り組み  
1,100千円



親元就農で張り切ってます



道の駅準備室の皆さん

**介護サービス事業特別会計**  
27,480千円  
あかねの郷の工事費の予算を組み替え、特殊浴槽と調理器具の購入をするもの。

**農業後継者育成対策事業**  
5,000千円  
「道の駅」実地研修など。

**親元就農促進支援**



**介護保険特別会計**  
12,022千円

**財産の取得**  
12,180万円  
鳥取県より、下石見へリポットの用地購入。

**人事案件**  
人権擁護委員候補者に、白根早苗氏（茶屋）を推薦することに同意。

**議会承認を求める事項**  
鳥取県日野地区連携・共同協会の廃止と、鳥取県日野郡ふるさと広域連携協会の締結について

## 3月定例会の予算審査意見でも取り上げた日南福祉会の介護職員の確保問題

今回、6月定例会の一般会計補正予算であらたに「日南町介護福祉人材育成奨学金制度」が設けられます。当面5名分として500万円が計上されました。

- 2年間、無利子で200万円を貸付限度に貸し付けられます。
- 社会福祉士、介護福祉士の資格取得をめざす学校等を卒業後、日南町に居住して日南町内の職場に4年以上従事したときは、償還を免除されます。



休止したおおくさ荘

## 65歳以上の介護保険料が全ての段階で確定したことによるもの

所得段階	対象者	保険料率	年額
第1段階	・生活保護、老齢福祉年金受給者で住民税非課税世帯の人 ・住民税非課税世帯の人で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	基準額×0.45	30,700円
第2段階	・住民税非課税世帯の人で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が120万円以下の人	基準額×0.65	44,400円
第3段階	・住民税非課税世帯の人で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が120万円を超える人	基準額×0.75	51,300円
第4段階	・住民税課税世帯の人で、本人が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	基準額×0.9	61,500円
第5段階(基準額)	・住民税課税世帯の人で、本人が住民税非課税で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円を超える人	基準額×1.0	68,400円
第6段階	・本人が住民税課税で、本人の合計所得金額が120万円未満の人	基準額×1.15	78,600円
第7段階	・本人が住民税課税で、本人の合計所得金額が120万円以上190万円未満の人	基準額×1.25	85,500円
第8段階	・本人が住民税課税で、本人の合計所得金額が190万円以上290万円未満の人	基準額×1.5	102,600円
第9段階	・本人が住民税課税で、本人の合計所得金額が290万円以上400万円未満の人	基準額×1.7	116,200円
第10段階	・本人が住民税課税で、本人の合計所得金額が400万円以上の人	基準額×1.75	119,700円

**議決したおもな議案**  
専決処分の承認  
介護保険条例の一部改正

基準額は据え置きとなっています。

改選後、最初の6月定例会が6月23日から26日までの会期で開かれました。初日には一般質問が行われ、5人の議員が登壇し執行部の姿勢をたどりました。執行部から提案された条例や補正予算などの全議案が原案通り可決成立しました。また、全議員で構成する議会基本問題調査特別委員会、中心地域整備に関する調査特別委員会、行政調査特別委員会の特別委員会をそれぞれ設置し調査することになりました。

**問** 老朽危険家屋等解体撤去補助金の見直しはできないか



足羽 覚議員

**答** 過料を徴収する中で補助金の増額は相反する

**問**

増え続ける空き家の対策と有効活用

① 全国820万戸に及ぶ空き家対策の特別措置法が5月26日、全面施行された。市区町村は治安や防災上の問題が懸念される空き家の所有者に撤去や修繕を勧告、命令できると規定。命令違反には50万円以下の過料を科し、強制撤去も可能とした。勧告を受けた物件は固定資産税が最大6倍となる。自治体の権限が法的に位置付けられ、対策が本格化する。軽減処置として、老朽危険家屋等解体撤去補助金の見直しが出来ないか問う。

② 空き家の増加が続く中で、日南寮の改修を行い、移住定住やシーズンステイに資する居住環境整備等が行われている。また、日南町空き家情報活用制度「空き家バンク」が有るが、活用が少ない様に見える。制度の見直しや、空き家改修支援、お試し住宅の整備などの方策がもつと必要と感じるが如何か。

**答**

増原町長

① 特措法第6条に定める「空家等対策計画」を策定するとともに、同法第7条に定める協議会を組織化し、空き家対策に取り組む。老朽危険家屋等解体撤去補助金についても、協議会において検討するが、過料を徴収する中で、補助金の増額は相反することとなる。

② 空き家情報活用制度「空き家バンク」の活用は、相談件数も含め近年増加傾向にある。旧日南中寄宿舎を改修したお試し住宅等の居住環境整備や既存の制度の見直し、協議を重ね、移住定住希望者にとって魅力ある支援を目指す。



老朽危険家屋

**問**

「コンパクトビレッジ」

① 「日本創成会議」は、東京圏の75歳以上の高齢者が今後10年間で急増するとして、医療、介護の施設や人材に余裕がある地方都市26道府県の41地域に高齢者の移住を促すよう政府や自治体に求める提言を発表した。日南町も高齢者の東京圏からの移住促進は考えておられるか問う。

② 誰もが楽しく過ごせる中心地域にする為、高齢者住宅や若者住宅と障がい者施設も併存して地域コミュニティを育む。中心地域の人口が増え、人と人の交流を楽しむ施設や機能が増えて行くと思う。それでこそ、元気をもたらす「小さな拠点」である「コンパクトビレッジ」の構想だと確信しているが、如何か。

**答**

町長

① 高齢者地方移住の仕組みづくりは、国、鳥取県とも積極的な姿勢であるが、支える人材の確保や財政支援など具体的な部分が不明確である。今後の国等の動向を注視するが、現行案のままでは、都市部の社会保障費を地方が負担することとなる。

② 「コンパクトビレッジ構想」の目指すところは、高齢化社会に立ち向かう町民の暮らしをサポートすること、また集客・交流の拡大により農林業の振興を図り、活力と魅力のある町を創造することです。

**問**

通学電車の時間要望

生山駅から米子に通っている学生が大勢おられるが、一番電車(6:30)利用の学生さんが特に多く、朝が早い為、子供や家族の負担に成っている。「7:00ごろ」なら、通学出来る。負担を減らす為に、時間変更が可能か問う。

**答**

町長

時間変更による課題も整理が必要だが、実態を把握しながら必要に応じてJRへの要望を検討したい。

# 町政のここが聞きたい

**問** 農場排水の影響を  
どのように対応されるのか

**答** 環境保全対策に務める



大西 保議員



銭神山川

①水質汚濁防止法、家畜排せつ物法に基づき、環境保全対策に努めるとともに、旧協定書に定める水質基準の順守を企業に求めていく。また、深刻な農業被害に関しては、現実的な対応策を要請していく。

②7月の開催を予定している。

**答** 増原町長

①日南町環境基本計画では「日野川の源流の豊かな自然環境と産業を共生するまちにちなん」を指しますとなっている。しかしながら、2年前よりセントラルファーム鳥取農場からの排水の影響で下流域において農業被害が発生している。今後、町としてどのように対応されるのかを伺う。

②平成25年7月より計7回に亘って「河川の水質悪化などに関する意見交換会」を開催されてきたが、昨年11月を最後に開催されていない。町として、今後も交換会を開催されるのかを伺う。

**問** 環境保全

**問** 日南病院の事業運営

日南病院の事業運営に当たり、現状と課題をどのように受け止めておられるのか。そして町民の皆様の負託にいかに対応するべく、病院事業管理者として、どのように対応をされるのかを伺う。

**答** 中曽病院事業管理者

現状と課題は、

- ・患者数の状況
- ・地域医療構想について
- ・新公立病院改革ガイドラインについて
- ・町づくり総力戦の一員としての病院に

**問** 空き家、危険家屋対策

平成23年の調査で空き家462戸、うち廃屋に近い状態が247戸との結果が出た。町として管理不全及び危険な状態にある空き家について、町民の皆様や自治会等からの情報提供件数は何件あるのか、その内、老朽危険家屋等認定台帳に記載され、建築物の老朽度、危険度判定基準の評点合計150点以上の危険家屋件数は何件あり、現時点での対応状況を伺う。

**答** 町長

管理不全な廃屋は247戸、内、危険度判定基準の評点150点以上の老朽危険家屋は67戸。本年度に入ってから情報提供は2件。内1件は、解体に着手。老朽危険家屋解体撤去補助金の利用状況は、平成25年度が3件、平成26年度が4件で、平成27年度は既に3件の申請を受理。

# 町政のここが聞きたい

問

高齢者を対象とした事業について  
今後の展開を伺う

答

地域ごとにつながりを充実させる  
ことから取り組みたい



近藤仁志議員

問

高齢者対策

① まめな会、支え愛ネットワークなど高齢者を対象にした事業を行っておられるが、参加者が固定化され職員が耳にされる意見も限定されている様に感じる。  
より多くの意見を聞き、事業の検証がなされ、それが発展的事業展開に活かされているか伺う。  
② 人との会話を欲している高齢者は多く、人と話すことで笑顔を取り戻す事ができる。集めるコミュニティから出掛けるコミュニティが必要と考えるが見解を伺う。

答

増原町長

① 「まめな会」は自治会と共催で開催しており、平成26年度は31自治会、延べ2,246人。参加者の拡大が課題。地域支え愛ネットワーク事業は、地域住民全体を対象としており、今年度は山上・阿毘縁・石見地域で取り組み予定。災害時要援護者の把握や、平時の見守り・地域での支え愛について取り組む。  
② 地域ごとに集いの場ができることを目指しており、福祉保健課職員・社会福祉協議会職員・まち協の皆様等の協力を得て、つな



まめな会 丸山

問

人材確保に向けて

がりを充実させること から取り組みたい。

① 看護師を始め町内に人材を求めめる企業、団体が多数あり行政も資金援助など手を打っておられることは承知しているが、それでも人が集まらない事は他に起因しているのか、不足しているのか見解を伺う。  
② 中学生、高校生そして町内出身大学生との交流機会を設け、日南町への関心度を高め将来町内就職はもとより町内での起業も選択肢の一つとして考えるきっかけになればと考えるが町長の見解を伺う。

答

町長

③ 自然を生かした産業はもとより、起業し易い町、子育てし易い町とか、日南町の魅力を充分発信しきれないかと考えるが見解を伺う。  
① 全国的に生産年齢人口（15歳～64歳）は減少を続けている。地方では「人材不足」から「人手不足」に陥っており、町内においても同様の状況であると考えている。  
② 中学生には町の魅力や誇りを伝える教育、高校生には町内で集い、活動できる場、大学生には情報提供・交換ができる仕組みづくりにより町内での就職、起業が選択肢となる取り組みが必要と考える。  
③ 個々には情報発信に努めているが、必要な情報がまとめて提供できるような工夫も行いながら更なる発信の充実に取り組みきたい。

# 町政のここが聞きたい

問

解釈で戦争する国にすることは許せない

答

国民の憲法議論が優先されるべきである



久代安敏議員

問

「安全保障法制」(戦争立法)

戦後70年の節目の年に、「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定にもとづいて、「安全保障法制関連法案」が国会で審議中である。憲法9条をないがしろにするものであり、住民の平和なくらしも脅かされると考えるが。

答

増原町長

国の最高規範たる憲法に対する国民の議論が優先されるべきであり、今のままでは問題がある。日米安全保障条約の下では、ある程度の協力はやむを得ないが、度重なる米軍の低空飛行などが続くと国民(町民)の感情にも変化が生じているのではないか。

問

介護保険制度と社会福祉法人「日南福祉会」および日南病院のスタッフ確保

- ①「おおくさ荘」は閉鎖されたままになっているが、再開の見通しはどうか。
- ②今回新しく「日南町介護福祉介護職員人材育成奨学資金貸与制度」を新設する方針であるが、同時に処遇改善などの職場環境が求められると考えるが。
- ③日南病院の看護師などの医療スタッフの確保は順調にすすんでいるか。
- ④訪問介護や通所介護を、あらたな地域支援事業として初年度から取り組むことにしたが、スムーズに移行できているか。

答

町長

- ①デイサービスセンター「おおくさ荘」(茶屋)は、平成27年4月から休止している。人材確保に努めておられるがまだ十分でなく、現時点では再開の見通しは立っていない。
- ②離職防止のため、介護職場の処遇改善や職場環境

の整備は重要なことである。最も急がれるのは、介護人材確保であり、連携しながら町としてもできることに取り組みたい。

- ③平成28年4月採用に向け鋭意努力している。
- ④4月から介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)に取り組んでいる。要支援の人の訪問介護・通所介護は財源が予防給付から地域支援事業に移行した。現行並みサービスとして移行しており、利用者に支障は生じていない。地域での自主運営による集いの場の創出については、少しずつ取り組みが始まっている。

問

日本年金機構の情報流出とマイナンバー制度

- ①日本年金機構から約125万件もの年金個人情報が出た。国民に不安が広がっているが。
- ②今年10月からマイナンバー制度が始まることになっているが、行政だけでなく企業や民間事業所も保有することになっており漏えいの危険が大きいと考えるが、どうか。

答

町長

- ①町の情報セキュリティ方針に基づき情報の安全管理を徹底している。事件を受けて職員にも再度注意を促したところである。
- ②システムと制度運用の両面で情報の安全管理に努める必要がある。

問

手話言語条例の取り組み

「手話言語条例」の日南町の取り組みは。

答

町長

あいサポート推進講座を開催したり、地域、学校、研修会やイベントなどで、手話に触れる機会が増えた。手話文化への理解が広がっている。

# 町政のここが聞きたい

**問**

人口減少対策をさらに強化  
するよう求める

**答**

関連する支援制度をさらに  
充実して移住定住をすすめる



坪倉勝幸議員

**問**

地方創生・創造的過疎

- ① 総合戦略策定について町長の基本的な考えを伺う。
- ② 人口減少対策として、U・Uターンの促進や結婚対策、基幹産業の振興が重要と考えるが、具体的な考えを伺う。
- ③ いきいき定住促進条例やチャレンジ企業支援制度の充実が必要と考えるがどうか。
- ④ 中心地域整備による活力を地域の活性化に波及させるとともに、地域の力を中心地域につなげる取り組みを強化しなければ町全体の発展につながらないと考えるがどうか。

**答**

増原町長

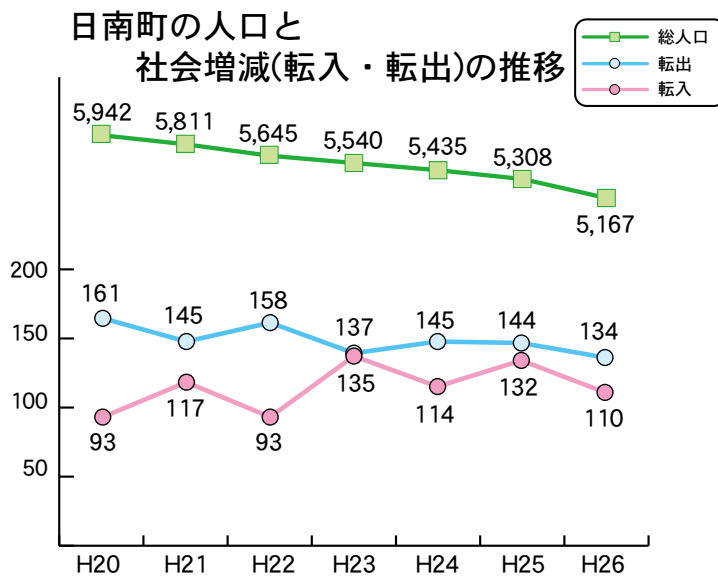
① 様々な分野、世代の町民の皆さんから意見をいただきながら、町民自らが考え、策定することに意義がある。また、数値目標を実施すべきで、単なる理想でなくPDCAや「まち、ひと、しごと」を基軸にした日南町らしい戦略を、住民や議会とともに作り上げたい。



Uターンして10年

④ 地方創生のPDCAを成し遂げるためにも、道の駅を核として農林産物の生産、出荷、加工を推進し、活力と魅力のある町を創造しなければならぬ。地域と中心地域機能が信頼、協力関係の下、それぞれの役割を担うことが町全体の発展に繋がると確信している。

日南町の人口と  
社会増減(転入・転出)の推移



② 移住定住については、関連する支援制度を地域とも連携して更に充実し、情報発信すること、結婚対策は出会いの場づくり、基幹産業の振興は農林業を重点に据え、生産拡大や6次産業化、ブランド化に更に取り組む。

③ 既存制度の充実、支給基準の緩和や拡充を総合戦略策定会議でも検討していきたい。ただ枠を増やすだけでなく、今後はよりチャレンジ性の高いものに特化して、重点を置く必要がある。

# 6月議会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○ 反対＝×

議案名	結果	足羽 覚	恵比奈 礼子	藤原 泰則	古都 勝人	山本 芳昭	大西 保	坪倉 勝幸	近藤 仁志	荒木 博	久代 安敏	福田 稔	村上 正広
<b>平成27年度 補正予算</b>													
一般会計（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険特別会計（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護サービス事業特別会計（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<b>専決処分の承認</b>													
日南町介護保険条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<b>その他の議案</b>													
工事請負契約の締結について（日南町総合文化センター空調設備等改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
工事請負契約の締結について（日南町総合文化センター外壁等改修工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得について（日南町下石見字クボキ原306番3外6筆の土地）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
鳥取県日野地区連携・共同協議会の廃止に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
鳥取県日野郡ふるさと広域連携協約の締結に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<b>請願・陳情</b>													
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
地方財政の充実・強化を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
道の駅建設工事に伴う機械設備工事は、地元の管工事業者へ優先的にご発注いただきますようお願いいたします	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「道の駅にちなん（仮称）」新築工事にあたり、電気工事は、地元業者に分離発注をして頂きますよう配慮をお願い致します	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
福栄コミュニティ施設の建設について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
集団的自衛権行使容認による安全保障関連法案の廃案を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
<b>発議</b>													
地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
集団的自衛権行使容認による安全保障関連法案の廃案を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—
議会基本問題調査特別委員会の設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
中心地域整備に関する調査特別委員会の設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
行政調査特別委員会の設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

\*村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。



# 請願・陳情の審査結果

提出のあった陳情は、6月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願	全日本年金者組合 鳥取県本部委員長 増田修治 西部支部支部長 松本正孝	年金制度を維持するためには「マクロ経済スライド」は必要である。また、掛金を支払わなくても年金が支給される最低保障年金制度を実施するには、根本的な年金制度の改革が必要となる。	不採択
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川博孝 日南町職員労働組合 執行委員長代行 長谷川照子	国に対して、地方財政の充実を求めるのは至当である。	採 択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 藤本敏秀 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 岡島恒志	教育の機会均等と水準の維持向上のためには、国による財源保障の充実が必要である。	採 択
道の駅建設工事に伴う機械設備工事は、地元の管工事業者へ優先的にご発注いただきますようお願いいたします	鳥取県管工事業協会 西部支部 支部長 橋本秀秋	地元企業への発注は、施工後の保守管理上効果的である。	採 択
「道の駅にちなん(仮称)新築工事にあたり、電気工事は、地元業者に分離発注をして頂きますよう配慮をお願い致します	一般社団法人鳥取県電業協会 西部支部長 斉木健之		採 択
福栄コミュニティ施設の建設について	福栄まちづくり協議会 会長 福田憲一	陳情の願意は理解できる。要望内容については、より精査する必要がある。	趣旨採択
集团的自衛権行使容認による安全保障関連法案の廃案を求める陳情書	戦争法案に反対する日南町民の会 代表 荒金 実	現在審議中の法案であるが、日南町議会は昨年度2回にわたり集团的自衛権の行使容認に反対の意見書を提出している。	採 択



- 平成27年度  
行政視察 受入状況**
- ・ 5月19日  
富山県小矢部市議会  
(議会でのタブレット端末の利用について)
  - ・ 6月30日  
三重県玉城町議会  
鳥取県江府町議会  
(議会改革の推進について)
  - ・ 7月1日  
山形県置賜地方町村議会  
議長会  
(議会改革、議会活性化、タブレット端末の利用について)
  - ・ 7月13日  
高知県南国市議会  
(議会改革の推進、タブレットの活用について)

# 6月定例議会で下記の意見書を採択し、 内閣総理大臣ほか関係大臣及び衆参両院議長に提出しました (要旨掲載)

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

2016年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすことが必要であり、次の点を要求する。

1. 地方一般財源総額の現行水準の維持・確保を明確にすること。
2. 急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」及び「まち・ひと・しごと創生事業費」については、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、恒久的財源へと転換をはかる。
4. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

## 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、 2016年度政府予算に係る意見書

一人ひとりの子どもたちへのきめ細かな対応や学びの質を高める教育環境を実現するためには、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要である。

また、自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきである。

子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、2016年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう要求する。

1. 少人数学級の推進のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1にすること。

## 集団的自衛権行使容認による安全保障関連法案の廃案を求める意見書

安倍政権は、集団的自衛権の行使について「政府が総合的に判断する」として拡大解釈の余地を残す答弁を繰り返し、他国に日本攻撃の意図が無くても集団的自衛権の行使は可能としている。

自衛隊の後方支援はこれまで「非戦闘地域」に限られていたが、法案では「現に戦闘が行われている現場以外」に広げている。しかし、政府は「自衛隊のリスクはこれまでと変わらない」などとし、国民に充分説明していない。直近の世論調査でも「安保法案 今国会成立『反対』」が過半数を超えている。

国会で憲法学者が声を揃えて「憲法違反」と指摘した事実は重い。政府は、これに耳を傾け、強行採決をすることなく、国会が立法府としての名誉と責任に於いて「安全保障関連法案」を廃案とするよう求める。

# 各常任委員会所管事務調査

## 総務教育常任委員会

担当課	調査事項	対応及び意見
陳情審査 (6月24日)	委員会に付託された請願1件、陳情6件の審査	
現地調査 (7月6日)	日南小学校及び日南中学校訪問による調査	
	・小中学校授業参観	全学年の授業と通学班総会の前・中・後期別の様子等を参観することが出来た。今後の学力向上やマナーアップに期待したい。
	・教職員管理職との懇談	ともいき科の取り組みにおいて、学校経営及び模擬議会の計画等、意見交換した。
	・教育委員との懇談	総合教育会議の自主性、社会体育館の改修等について、意見交換した。
	・学校給食	食材の地産地消及び地産地消率について調査した。県内産使用率は74%（米と牛乳は含まない。）※米は町内産を使用。
		

## 経済福祉常任委員会

担当課	調査事項	対応及び意見
福祉保健課 (6月12日)	介護保険料の負担軽減策について	第1段階に該当する396人について、内容を改め、年額34,200円から30,700円にする。
	介護福祉人材育成奨学金制度について	介護福祉士養成校で学ぶ方に、1年次に100万円、2年次に100万円貸与する制度。
農林課 (6月12日)	27年度の野菜生産の取り組みについて	振興事業として底辺を広げる仕組み、生産者の支援仕組みの二本立てで考えている。
聴き取り (6月12日)	(株)ウッドカンパニーニチナンの経営状況・経営方針について	8月末をもって受注を止め、12月まで在庫処分。以後、休業を考えている。
現地調査 (6月24日)	(株)ウッドカンパニーニチナンの現地調査	 

# 中心地域整備に関する

## 調査特別委員会

再度中心地域整備に関する調査特別委員会を設置し(委員長・山本芳昭、副委員長・久代安敏)、7月9日に第2回の委員会を開催しました。

来年度オープン予定の「にちなん道の駅」について、建設課からは町道北の原権現線について、企画課からは道の駅各施設について、農林課からは農産物の出荷体制等について報告を受けました。農産物の集出荷施設とレストランの客席数について多くの質疑、意見があり早急に再度検討し報告を受けることになりました。

# 議会基本問題

## 調査特別委員会

町民の負託に応える議会を目指して、議会の基本的問題について、調査、検討する特別委員会が6月定例会において設置されました。

### 第1回委員会 (6月24日)

委員長、副委員長の選任を行い委員長に坪倉勝幸議員、副委員長に古都勝人議員を選出しました。

### 第2回委員会 (7月14日)

議会基本条例の研修、議会関係例規の確認を行いました。

また、議会広報調査特別委員会を常任委員会にすることを決定しました。

今後の委員会での調査、検討事項について意見交換を行いました。

# 町村議会議長・

## 副議長研修会

去る5月26日、27日の2日間にわたり、全国町村議会928議会の議長、副議長、局長を含め1800人余が参集し、東京中野サンプラザを会場に開催されました。

26日には、昨年度の全国議長会特別表彰を受賞した日南町議会を初め、北海道福島町、山形県川西町、山梨県昭和町、沖縄県南風原町議会の5議会の議長がパネリストとして登壇し、それぞれの議会が「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」「住民に開かれた議会」「特色のある議会運営」の取り組みについて発表しました。会場からの質疑応答もあり活発な議論が交わされました。



# 日野高校の現状と

## 課題を研修

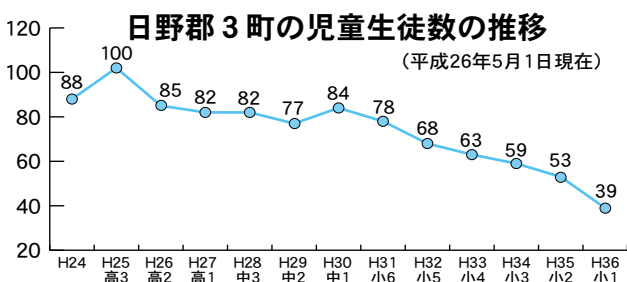
7月14日に、日野町役場で平成27年度日野郡町議会議員研修会が開かれました。

日野高等学校魅力向上コーディネーター片平誓子氏「日野高校の魅力向上が地域の未来に及ぼす影響について」学校と地域の連携という視点から」の講演と、田淵校長先生による日野高校の課題について説明を受けました。

少子化の中で日野郡内から進学する中学生も大幅に減少しています。議会としても日野郡三町で今後の高校教育のあり方についてさらに検討を重ねて、よりよい高校づくりのために知恵を出し合おうという意見が多く出されました。

### 日野高校の出身地ごとの生徒数 (H27年度)

市町村	日南町	日野町	江府町	伯耆町	南部町	日吉津村	米子市	境港市	大山町	安来市	計
1年	8	4	4	5	5	0	24	3	2	0	55
2年	8	4	2	6	5	0	27	2	6	0	60
3年	6	8	0	5	4	1	21	2	4	2	53
総合計	22	16	6	16	14	1	72	7	12	2	168
割合	13%	10%	4%	10%	8%	1%	43%	4%	7%	1%	*



# 道 どっこい、この町に生きる 草



田中 素之さん（石見）

## 山里の耕作放棄地はもつたいたない



随分変わった経歴と伺いましたが？

変わっているかどうか判りませんが、大阪大学大学院 理学研究科原子核物理学専攻の修士課程修了後、セラミックス単結晶材料の研究開発に携わり、最後は三井金属鉱業㈱でX線を検出する材料開発に没頭しておりましたが、鳥取県立農業大学校で2年間学生生活を送り今年の4月から(有)だんだんで水稲、ピーマン、ほおずきの栽培管理に取り組んでいます。随分難しい物理の世界から何故畑違いの道へ？

元々生物に興味を持っていてその根本を知るために物理学に進んでいたのですが、20年を契機に生物の世界に戻ったという感じです。それが何故農業でしたか？

趣味が旅行でして暇を見つけて日本中を旅していると、山里の耕作放棄地が増えていくのを見て悲しいのともつたいたないと思ひ、そんな地に貢献できないかと考えるようになっていました。いざ辞めようとした時後悔は有りませんでしたか？

20年を経過した。つまり働ける人

生の半分が経過したと言うのが一番で、定年を待っていたら出来る事な境界が生じるのではないかと思つたので躊躇なく決断出来ました。何故それが鳥取県になったのですか？

当然農業を始めるのに勉強が必要です。インターネットで農業を学べる機関を調べました。生まれが京都です。西日本で農業を学べるところがキーワードで、ヒットしたのが鳥取県立農業大学校だったのです。それと勤務地が人の多い埼玉だったので人の少ない鳥取県に憧れもありました。まだ経験は短けれど理想と現実のギャップを感じる事はありますか？

勉強で習った事をやるには時間とコストが足りなくて妥協せざるを得ないのが現実。理想と折り合いをつけなくてはと強く感じております。田中さんにとって理想の町とは？

あくまで山村がベースです。人と人との関係が豊かで他所から来られる人に対して寛容で排他的でない町理想とする生活は？

農繁期に人一倍働き、農閑期に興味の旅行を兼ねて農業の研修ができ

たら最高！

日南町の足らないと感じる所はありますか？

都会の人に殆ど知られていないのは残念。情報発信が不足していると感じる。

都会の人が入り込むのに敷居が高いと感じる。中石見の宿泊研修所に入るにも煩雑な手続きが要つたからシェアハウスとか簡易宿泊所があり滞在して日南町を体験できるシステムが欲しい。それと都会の人は車を持っていないし日南町では車が必要。だからカーシェアリングのシステムが有つたら喜ばれるかも。

最後に嫁さん募集中との事、面白い経歴の持ち主で実に誠実で研究熱心、親しみのもてる性格に好感が持て、結婚され日南町に貢献を期待できる人物と感じました。



## 編集後記

私の家族は現在4人暮らしですが、以前は10人家族でした。また、5人の子どもに恵まれ、家の中は保育園状態で、にぎやかな日々を過ごしていました。私は、かつての家族を取り戻す為に、子ども達にいずれは、日南町に帰って来る様、呼びかけています。現在、人口減少は様々な問題を引き起こしています。この諸問題を少しでも軽減する為に、「Uターン」に力を入れ、後継者を残して行く事が得策と考えています。これから、日南町をもっと良くする為に、また、未来を切り開いて行く為に、家族に帰って来る様呼びかけとそれに答える行政の施策や対応が必要と感じています。子ども達よ「ふる里」に早く帰ってこい。

足羽 覚 記

### 議会広報調査特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 久代 安敏 |
| 副委員長 | 足羽 覚  |
| 委員   | 大西 保  |
| 委員   | 近藤 仁志 |
| 委員   | 福田 稔  |